Since 1999

株式会社　京屋サンティー

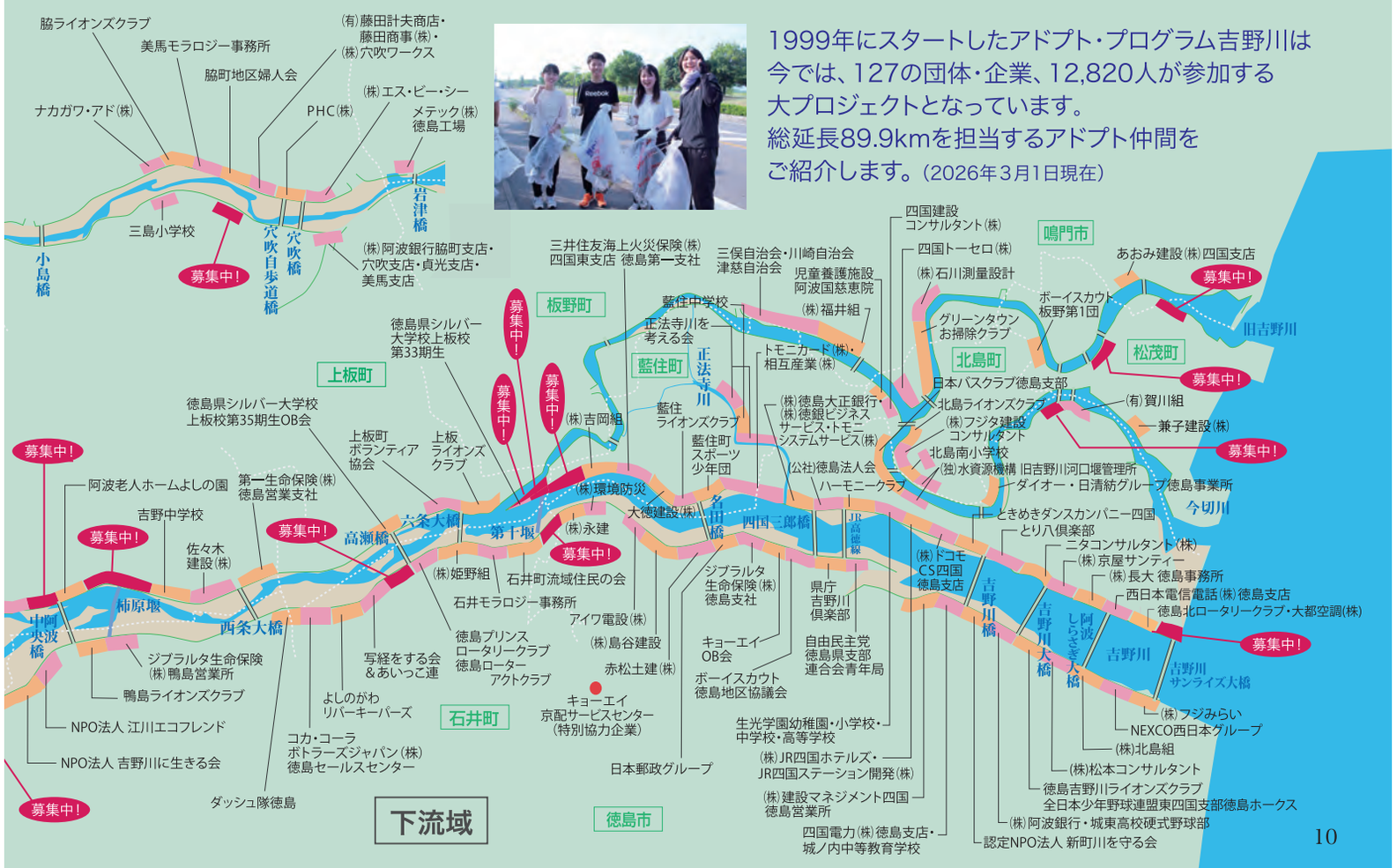
10月25日、秋晴れの河川敷に集合したのは京屋サンティー（埴渕恒平 代表取締役社長）の皆さん。事務機器から商業施設のトータルプランニング、ソフトウェア開発、情報システム処理まで幅広い業務で徳島の企業を支える縁の下の力持ちです。社会貢献の一環で四半世紀以上にわたって河川や道路清掃に取り組んできました。担当区域は吉野川左岸・吉野川大橋から下流へ600m区間、春と夏、秋の３回、アドプト清掃を行なっています。「ゴミが少なくなったね」「でも、タバコのポイ捨ては無くならんな」などと話しながら手際よくゴミを集め、「今日はこれから別の場所の草刈りなんです。それでは！」と笑顔で去っていきました。さわやかな風を残して――。

アドプト清掃の後、別所の草刈りへ。まるで風のように去っていきました

Since 2000

株式会社　吉岡組

7月の第1日曜が活動日。吉野川左岸・第十堰下流で汗を流します

（株）吉岡組（吉岡健治 代表取締役）は昭和15年（1940）創業以来、人・自然・環境の調和を大切に、堤防や護岸の大規模な土木工事、公共・商業施設の建設工事を行ってきました。会社が吉野川に近く、旧吉野川上流の業務も多いため、吉野川への思いは強く、昭和50年代から吉野川一斉清掃に取り組んできました。アドプト・プログラム吉野川への参加は平成12年（2000）から。当時は集中豪雨が頻発し、大雨や台風によるゴミも多く、シーズンを前に一斉点検を兼ねて清掃活動を行っていたそうです。幼い頃から美しい吉野川に親しんできたという社員さんの一人は、「水質と風景の良さは多くの方達の手によって支えられてきたのだと清掃を通して実感しました。一人一人の意識啓発により、キレイな吉野川を維持していきたい」と語ってくれました。

1999年にスタートしたアドプト・プログラム吉野川は
今では、127の団体・企業、12,820人が参加する
大プロジェクトとなっています。
総延長89.9kmを担当するアドプト仲間を
ご紹介します。（2026年３月1日現在）